

平成23年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	健康情報活用基盤構築事業		担当部局庁	情報流通行政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度		担当課室	情報流通高度化推進室		室長 吉田 恭子		
会計区分	一般会計		施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法 第4条第76号		関係する計画、通知等	新成長戦略、新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	個人が自らの医療・健康情報を生涯にわたって電子的に管理活用し、行政機関や医療機関が国民に最適な医療を提供することを可能とする健康情報活用基盤(日本版EHR)の全国整備に向け、医療・健康情報が安全かつ円滑に流通するための広域共同利用型システムの確立・普及に向けた実証							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	複数の基礎自治体の参画・連携の下、各自治体地域が保有する医療情報(例:調剤情報、健診情報)を安全かつ円滑に流通させるための広域共同利用型システムに求められる機能(医療情報の登録・管理手法、共同利用型システムに求められるネットワーク技術及びセキュリティ機能、住民・自治体・医療機関等との間の情報連携の仕組み、アクセス方式、運用に必要な監査・保守などの共通機能等)を開発・実証し、広域共同利用型システムの構築・普及に向けた指針を策定する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	192		
		補正予算	-	-	-	0		
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	192		
	執行額		-	-	-			
執行率(%)		-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	・重複検査の減少率 ・重症化防止による疾患罹患の減少率 ・重複調薬の防止率 ・平均入院・在院日数の短縮率 等		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施したプロジェクトの件数		活動実績 (当初見込み)	件			()	— 4
単位当たり コスト	48 (百万円/件数)		算出根拠	予算額:192 実施するプロジェクト数:4(フィールド検証、進捗管理) 単位当たりコスト=執行額/実施したプロジェクト数				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.7						
	電気通信技術研究開発調査費	191						
	計	192						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本件は、国民の健康情報という非常に秘匿性の高い情報を扱うものである。また、先進諸国では医療分野における様々な課題解決のために国家レベルでの生涯電子健康記録の導入が進められ、さらなる普及に取り組んでいる。我が国でも健康情報活用基盤の構築に向けて国がリーダーシップをとり、そのルール作り等を進める必要がある。</p> <p>フィールド検証については、医療機関、地方公共団体、薬局、診療所、介護施設、在宅医療・介護支援施設等、多数の主体との調整が必要となること、また、一定期間公募を行い、入札者を募った結果、入札希望者が1者であったことから、随意契約により調達を行った。進捗管理業務については、一般競争入札により調達を行い、公告後には、事業者等に対して、入札スケジュール等入札情報について十分な周知を行ったうえで複数社の参加による入札を行った。また、事業開始時に実施計画書・業務管理スケジュールを作成するとともに、3フィールド共通の進捗状況報告・成果共有の場として、日本版EHR事業推進委員会を平成23年度7月に開催し、有識者等のアドバイス・指摘を反映するなど、実証内容の進捗管理・把握を行った。今後も同委員会において、定期的に進捗状況の管理に努める予定。</p> <p>本事業については、日本版EHR事業推進委員会において、内閣官房、厚生労働省、経済産業省がオブザーバーとして参加しており、各府省と連携しながら事業を実施しているところ。</p>		
<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p>			
<p style="text-align: center;">事業所管部局による点検が十分行われている。</p>			
<p style="text-align: center;">上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
<p>指摘を踏まえ、残る実証期間においても、調達手段の検討等、引き続きさらなる経費の効率化に努める。</p>			
<p style="text-align: center;">補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			

総務省

179百万円

実証実験の調達、事業進捗管理

【一般競争入札】

【随意契約】

【随意契約】

【随意契約】

A.
デュオシステムズ
5百万円
健康情報活用基盤構築事業に
おける管理支援の実施

B.
日本電気株式会社
61百万円
医療・介護連携支援のための健康情報活用基盤構築の実証実験の実施

C.
（株）STNet
56百万円
処方せんの電子化・医薬連携を実現するための健康情報活用基盤構築の実証実験の実施

D.
（社）出雲医師会
57百万円
共通診察券を活用した健康情報活用基盤構築の実証実験の実施

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	連絡会の設置・開催、報告書作成	3			
雑費	旅費・諸経費	2			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	実証環境構築費(設計・設置・調整・試験)、調査研究、報告書作成	35			
機器費	検証用機器費	25			
雑費	協議会運営費	1			
計		61	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	実証環境構築費(設計・設置・調整・試験)、調査研究、報告書作成	35			
機器費	検証用機器費	20			
雑費	協議会運営費	1			
計		56	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	実証環境構築費(設計・設置・調整・試験)、調査研究、報告書作成	36			
機器費	検証用機器費	20			
雑費	協議会運営費	1			
計		57	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	デュオシステムズ	各実証実験フィールドについて、相互の進捗を共有する連絡会を開催するとともに、日本版EHRの有効性や運営上の課題等、複数の実証実験の成果を集約・整理する。	5	3	85.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気株式会社	医療／薬剤／介護の専門家が情報を安全かつ簡易に提供でき、医療機関、調剤薬局、介護を担う民間サービス事業者のケアマネージャー等が安全に活用することが可能となる健康情報活用基盤の諸機能及びその活用に関する効果について検証を行う	61	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株STNet	複数の地方公共団体が共同利用する基盤を構築し、個人が健康情報を安全かつ簡易に蓄積、参照でき、また、地方公共団体、医療機関、薬局等が必要な操作を安全に活用することが可能となる共同利用型健康活用基盤の在り方について検証を行う	56	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)出雲医師会	利用者(個人、医療従事者、薬剤師等)が、個人の健康情報を各種データベースに蓄積し、ポータル等を通じてそのデータに安全かつ快適に健康増進に活かせるような共同利用型健康情報活用基盤を構築し、地方公共団体、医療従事者の協力の元、その機能や効果について検証を行う	57	随意契約	
2					
3					
4					

5				
6				
7				
8				
9				
10				